

畜産の祭典 高梁市で開催

第 17 回岡山県畜産共進会

—はなやかに畜産絵巻—

第 17 回の岡山県畜産共進会は、さる 10 月 7 日から 10 日までの 4 日間、岡山県と高梁市の主催で、秋色ようやく濃い高梁市松山の高梁家畜市場に、各郡代表の和牛、乳牛、豚、山羊合わせて 215 頭が参加して開かれた。

今年とはくに中国連合畜産共進会の開催される年でもあり、山羊、豚も加えて 4 部門について、その予選の意味もかねて行なわれることになったため、これを目標に長期間にわたって育成が進められ、優れたものの出品が多く、例年にない充実したはなやかな共進会となった。

開催前日の 10 月 16 日には、すでに準備の成った会場へつぎつぎに出品家畜の搬入が行なわれ、明日からの晴れの舞台での熱戦に備え、管理者はすぐに愛畜のコンディション調整にとりかかり、会場内外にはすでに活気がみなぎりはじめた。

10 月 7 日、いよいよ共進会第 1 日目、天気は上々の見込み、開幕前の午前 8 時から出品家畜の測尺がはじまった。午前 10 時、会場中央にある高梁市場名物の円形セリ場で、主催者、出品者など関係者が出席して開会式があり、直ちに和牛（第 1 部）乳牛（第 2 部）から審査が開始された。

審査は 10 月下旬の中国連合畜産共進会の審査区分に準じて、和牛はメスの生後 16 カ月までを第 1 区、22 カ月から 24 カ月までを第 2 区、25 カ月以上を第 3 区、オスの区を加えて 4 区に、乳牛は経産、未經産の別で行なわれ、審査員には審査長に蔵知県畜産課長、審査顧問として農林省中国種畜牧場山内直樹種畜課長が、審査員として和牛の部は林県和牛試験場長、乳牛の部は小沢県酪農試験場長、豚山羊の部は県畜産課片山係長の諸氏のほか県、団体の専門技師がこれにあたった。

この頃から入場者の数も次第にふえ、暑さも漸やく遠のいた秋晴れのもとに手入れ充分のいずれ劣らぬ優秀牛が覇を競い、午前中の総体審査に続いて午

後は個体審査が熱心に行なわれ、会場周辺での農機具展示などの協賛行事とともに、内外に共進会一色の気分が盛り上がった。

第 2 日目、明けて 8 日はこの日も晴天にめぐまれ、午前 9 時から昨日に続いて和牛、乳牛の比較審査、山羊、豚の比較、個体審査が終日慎重に続けられた。ちょうどこの日は日曜日にも当たったため人出も多く、数多の見学者が見守るなかに出品家畜のおおよその序列が決められていった。

また場外では市内日新高校音楽隊の市中行進や野外演芸場での演奏会があり市民の耳目を集めた。

共進会のメインイベントにあたる第 3 日目の 9 日は、朝から続々と見学者が詰めかけ、数千人の観集が場内をうめ、午前 9 時から上位入賞家畜のうち、まず和牛から乳牛、山羊、豚と順次場内に整列し、最終審査を行なった後いよいよ 2 等賞入賞以上の家畜にブルーリボンが審査員の手から贈られ、ここに 3 日間の激戦の結果がきまり、観衆から入賞牛に対して祝福の拍手がおくられた。

午後 1 時から場内円形ドームで NHK ラジオ農業学校の地方集合研修会が開かれ、「和牛の見方」林県和牛試験場長、「乳牛の見方」小沢県酪農試験場長の講演が行なわれ、ついて午後 2 時から 1 等賞入賞家畜について各部の審査長から展示講評があり、1 頭ごとに解説が行なわれ、参観者多数が熱心に耳を傾けた。

最終日の 10 日は、午前 9 時半から上位入賞牛の展示、ついで 11 時から褒賞授与式に移った。

式はまず共進会長代理、惣津県農林部次長からの共進会の成果と畜産の将来の発展についての挨拶、協賛会長挨拶ののち、審査長の蔵知県畜産課長はじめ、各審査部長から家畜別の審査結果の概要について報告、ついで褒賞授与はまず（別掲のとおり）和牛、乳牛、山羊、豚の各家畜部門の各等入賞代表者にこもごも農林大臣、県知事、団体から賞状、賞品

岡山畜産便り 1961. 11・12

が贈られ、つぎに各部門の団体優勝地区に対して優勝旗の贈呈があった。

これに続いて長年県畜産界に功労のあった真庭郡の山田保、岡山市 山上幹一、吉備郡 赤木文吉、倉敷市 定金正皓 の諸氏に対して県知事表彰、赤磐郡 井本久、真庭 亀山乾、久米 浅尾浅治、和気 向井静衛、岡山市 入江唯夫、小田 吉実武雄、上房 難波典雄、真庭 横山軍治郎、苫田 中塚智雄、津山市池田寛一の諸氏に対して県知事感謝状が、それぞれ惣津県農林部次長から手渡され表彰が行なわれた。

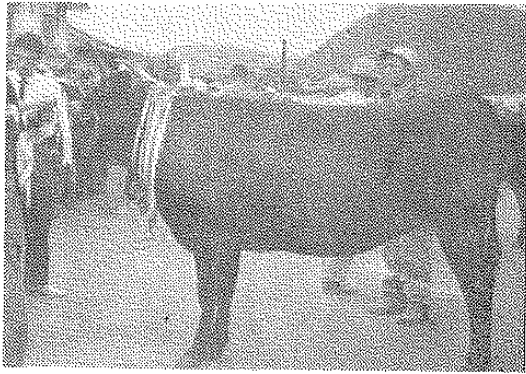
また同時に昭和 36 年度牧野共励会の表彰も行なわれ管理の優秀な英田郡大原町の畝山牧野ほか 5 地区がこれに選ばれた。

さらに県会議長祝辞などがあり、式を終り 4 日間にわたった第 17 回県畜産共進会の幕を閉じた。

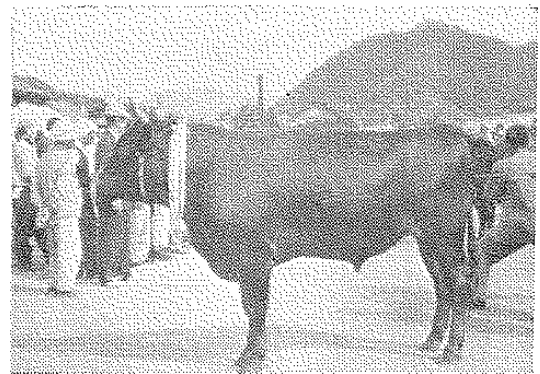
なお上位入賞家畜は続いて 10 月下旬の中国連合

共進会に出品されることになり、さらに次の栄冠をめざして意気高いものがあった。

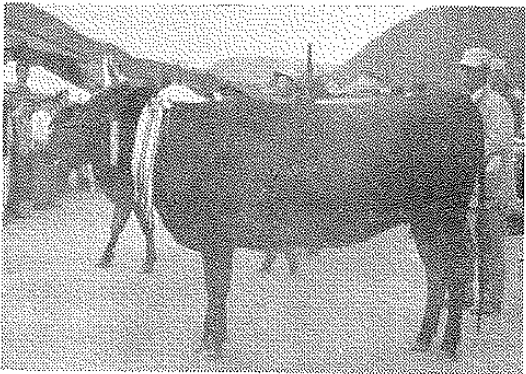
和 牛 の 部



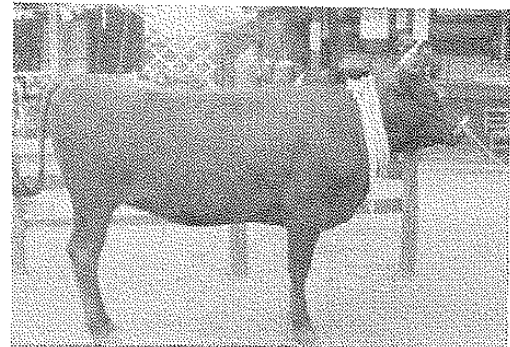
牝 1等賞 全国畜産農協連合会長賞
しげ号 (16~21カ月)
上房郡 黒岩忠治郎



牡 1等賞 農林大臣賞
千難号
新見市 土居幾造

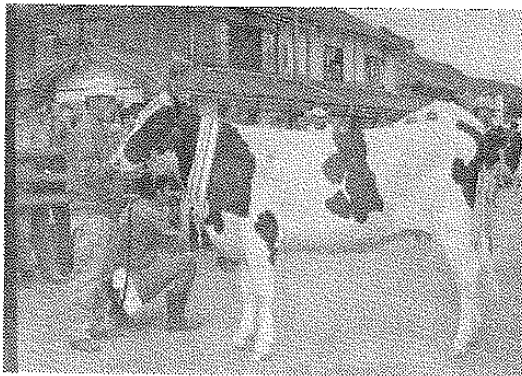


牝 1等賞 中央畜産会長賞
きみ二号 (25カ月以上)
真庭郡 長尾信子

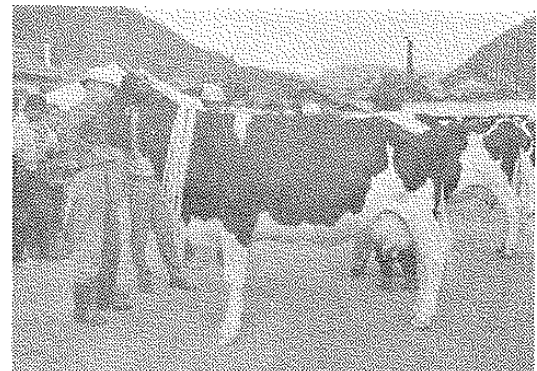


牝 1等賞 中央畜産会長賞
第三ひでみ号 (22~24カ月)
真庭郡 高橋久太郎

乳 牛 の 部



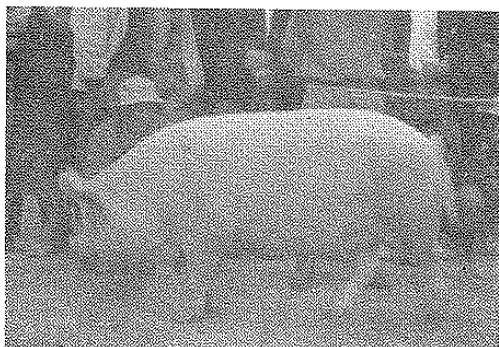
牝 1等賞 農林大臣賞
リス ポンエロ エムペラー (未経産)
西大寺市 原 勲



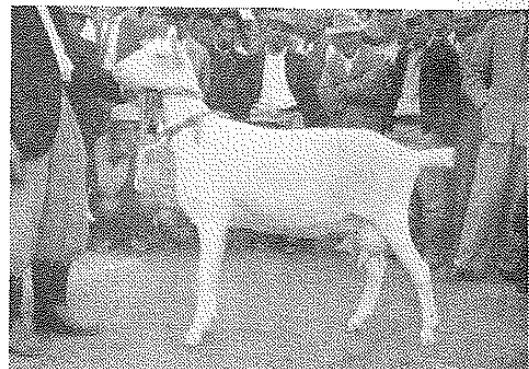
牝 1等賞 農林大臣賞
オダカルデア エムベリア号 (経産)
小田郡 小 玉 久

豚 の 部

山 羊 の 部



牝 1等賞 農林大臣賞・中央畜産会長賞
アサヒウラ ミントン アサヒ1号
英田郡 松本多穂



牝 1等賞 農林大臣賞・中央畜産会長賞
こうばらしは1号
総社市 神原岸太郎

岡山畜産便り 1961. 11・12

入賞状況 (1等賞入賞分のみ)

1等賞

◎和牛 (黒毛和種)

牝 三 区 (二五カ月以上)										牝 二 区 (二二〜二四カ月)								牝 一 区 (二六〜二七カ月)					出品番号		生年月日		産地		出品者																													
110	109	106	124	120	115	131	108	126		99	101	96								69	51	74	83	58	66	67	36											5	12	3	7	20																
第二みやまえ	たけ	第五まきはな	むらたけ	きよみ	第三こぼやし	第三六しんもり	みやばな	きよみ		あさひ	第三ひでみ	第三ひでみ								たかよし	第三かんれい	第六もと五	はなえ	おかもと	あまつ第一	むさつ	しげ												新岡光二	常の	第二藤花	第三強本	千難															
34・8・20	34・8・25	34・10・5	34・5・26	34・6・20	34・7・16	34・2・1	34・8・25	34・5・18		34・11・25	34・10・27	34・12・12								35・3・2	35・4・15	85・2・20	35・1・25	35・3・30	35・3・8	35・3・3	35・5・27													35・6・3	35・4・10	35・6・8	35・5・18	34・12・7														
久米	川上	新見	真庭	真庭	阿哲	新見	真庭			真庭	津山	真庭								真庭	阿哲	真庭	苦田	阿哲	上房	総社	上房											阿哲	新見	阿哲	真庭	新見																
上房・北房	御津・津高	阿哲・神郷	新見・千屋	真庭・落合	真庭・落合	阿哲・西	阿哲・大佐	真庭・落合		真庭・落合	津山	真庭・美甘								真庭・落合	阿哲・神郷	上房・北房	御津・津高	新見・草間	上房・北房	総社・三須	上房・北房												阿哲・哲西	総社・井尻野	阿哲・新郷	吉備・足守	新見・高尾															
坂本実太郎	村上盛夫	真壁篤夫	上田篤夫	村松良香	林茂治	川原善次郎	新末義男	長尾信子		曾根芳太郎	津本猪八郎	高橋久太郎								曾根彰	坂田好道	中川利彰	本郷久一郎	藤野善義	南	新谷依男	黒岩忠治郎												沖田洋美	坪井忠良	大塚淳一	箱菅武尚	土居幾造															

◎乳牛 (ホルスタイン種)

◎山羊 (ザーネン種)

◎豚 (ヨークシャー種)

経産の区			
85	44	47	46
ライオン	アエナ	ヴェイ	ムム
33・6・12	31・5・5	31・1・14	31・3・18
御津	苦田	邑久	小田
御津一宮	真庭落合	上道	小田美星
吉原俊夫	曾利善春	今中芳太	小玉久

未経産の区					
26	4	2	21	18	17
アイス	マト	クサ	コロ	ブレ	ロイ
34・8・4	35・1・5	35・2・5	34・9・23	34・10・20	34・10・24
吉備	苦田	邑久	真庭	苦田	西大寺
吉備足守	苦田鏡野	邑久牛窓	真庭落合	真庭落合	西大寺邑久郷
金草隆	出口清	松田春太	渡辺定義	尾崎元宣	原勲

未経産の区			
12	17	16	4
ひじや	こうばら	まさき	こうばら
34・2・12	32・7・1	33・3・14	35・4・1
〃	〃	〃	総社
〃	〃	〃	総社阿曾
土屋頷夫	神原岸太郎	小池克己	神原岸太郎

未経産の区			
4	9	16	11
オカワ	カトリ	セイヤ	アサヒ
36・2・15	35・11・26	35・4・23	35・9・23
新見	赤磐	愛知	英田
真庭落合	赤磐山陽	高梁松山	英田美作
宮川清輝	石原徳夫	松本養豚場	松本多穂

岡山畜産便り 1961. 11・12

団体優勝

和牛の部 第17回岡山県畜産共進会優勝旗 高梁地区

乳牛の部 第17回岡山県畜産共進会優勝旗 北酪地区

岡山県酪農農業協同組合連合会優勝旗

岡山県北部酪農協同組合

山羊の部 第17回岡山県畜産共進会優勝旗 総社・吉備地区

総合優勝

全家畜 岡山県総合畜産農業協同組合連合会優勝旗

総社・吉備地区

大家畜 岡山県家畜商協会優勝旗 真庭地区

個人優勝

岡山県酪農農業協同組合連合会勝盃

西大寺市邑久郡 原 勲

小田郡美星町 小玉 久

優良牧野表彰

岡山県知事賞状・賞品

岡山県草地協会賞状・賞品

事業団体名	牧野名	面積 ha	牧草名	生産 当一 〇ア りル 量
御津郡一宮町 横尾牧野改良組合	横尾牧野	〇・五	オーチャード・グラス イタリアン・ライグラス ラヂノ・クローバー	三、六七〇
真庭郡湯原町	種牧野	〇・二	オーチャード・グラス レッド・クローバー	八、〇〇〇
上房郡賀陽町 賀陽町農業協同組合	黒山牧野	二・二	オーチャード・グラス ペレニアル・ライグラス イタリアン・ライグラス レッド・クローバー トールオート・グラス	四、五〇〇
和気郡備前町 備前町農業協同組合	新庄牧野	三・〇	オーチャード・グラス トールオート・グラス イタリアンライ・グラス ラヂノ・クローバー	三、九五〇
小田郡美星町 美星農業協同組合	布頭牧野	四・五	オーチャード・グラス トールオート・グラス イタリアン・ライグラス レッド・クローバー ラヂノ・クローバー	六、〇〇〇
英田郡大原町	敵山牧野	五・〇	イタリアン・ライグラス オーチャード・グラス レッド・クローバー ラヂノ・クローバー	四、八〇〇

山羊郡市別授賞点数表

郡市別	区別	1等	2等	3等	計
岡御赤和	山	—	—	—	—
	津	—	—	—	—
	磐	—	—	—	—
西大寺・邑久・上道	島	—	—	—	—
	敷	—	—	—	—
	島	—	—	—	—
西児都浅	窪	—	—	—	—
	口	—	—	—	—
	倉	—	—	—	—
筭井吉高	原	—	—	2	2
	後	—	—	—	—
	備	4	5	1	10
新真英久	見	—	—	—	—
	阿	—	—	3	3
	哲	—	—	1	1
計	庭	—	—	—	—
	田	—	—	1	1
	米	—	1	—	1
計		4	6	7	17

和牛郡市別授賞点数表 () 内は牡

郡市別	区分	1等	2等	3等	計
御赤和児	津	2	2	1	5
	磐	—	—	5	5
	氣	—	—	—	—
倉浅小井	敷	—	2	12	14
	都	—	—	—	—
	窪	—	—	—	—
小井	田	—	(1)	3	(1) 4
	原	—	2	2	4
	後	—	—	—	—
筭井吉高	社	(2)	(1)	(2)	(5) 16
	上	4	6	(2)	(2) 20
	房	(3)	(4)	(1)	(8) 9
新真英久	見	6	(2)	(3)	(5) 11
	阿	6	4	—	—
	哲	—	—	—	—
津勝英久	山	1	2	(1)	(1) 7
	苦	—	1	6	7
	田	—	1	2	3
計	田	—	2	3	5
	米	—	—	—	—
	計	(5) 20	(8) 32	(9) 58	(22) 110

豚郡市別授賞点数表

郡市別	区分	1等	2等	3等	計
岡御赤和	山	—	—	—	—
	津	—	—	—	—
	磐	1	1	2	4
西大寺・邑久・上道	島	—	—	—	—
	敷	—	—	1	1
	島	—	—	—	—
西児都浅	窪	—	—	—	—
	口	—	—	—	—
	倉	—	—	—	—
筭井吉高	原	—	2	—	2
	後	—	—	—	—
	備	—	1	—	1
新真英久	見	1	2	1	4
	阿	—	—	—	—
	哲	1	—	1	2
計	庭	1	—	1	2
	田	1	—	—	1
	米	—	—	—	—
計		4	6	6	16

乳牛組合別授賞点数表

組合別	区分	1等	2等	3等	計
平浅赤和	津	1	—	1	2
	口	—	1	2	3
	磐	—	—	—	—
旭児倉水	東	3	4	—	7
	島	—	—	—	—
	敷	—	1	1	2
山芳吉高	陽	—	—	2	2
	井	—	2	—	2
	備	1	—	1	2
新美北美	山	—	—	1	1
	星	1	3	—	4
	齋	4	5	1	10
計	作	—	2	—	2
	計	10	18	22	50

審査報告

第1部 黒毛和種種牛

1、一般概評

今回の出品は、130頭を上廻るといって極めて多数の出品にも拘わらず、内容的よく充実し、優劣の差が少なく接近しておりましたことは、本県産牛の改良が高い水準にあることを示すものとして、誠によこびにたえません。

然し、これを細部に見ますと、優良系統に基づく遺伝質の改良により出品が一段と斉一されて参りましたが、今なお産地ないし出品地区による較差が認

められるようで、この点早く、すべてのものが高い水準で足並みを揃えることが望まれます。

一般的には、体はよく緊り、発育良好、中軀がよく、骨緊り、角、顔などの優れたものが多く認められたことは、共通の美点でした。

出品牛のうち僅か5頭を除いては、すべて正常な発育を示しておりまして、出品牛の発育の良かったことを物語っております。反面、体の深みに欠け、やや長脚に失するもの、体長に乏しいものが認められたことは、今後の研修課題と考えられます。また、今までも再三指摘されて参りました、被毛皮膚については、年々改良されておりまして、結構なことで

岡山畜産便り 1961. 11・12

すが、今後の改良の重点として、更に努力が望まれました。

つぎに、和牛改良上、共通の欠点である後軀の状態については、例外ではなく、特に尻や腿の充実を欠くものが比較的多く見られたことは、今後更に改良を促進する要があると思います。

2、将来改良を要する点

(1) より肉用的価値を高めるといふねらいで体軀の充実、即ち体の幅と深みを増し、後軀殊に腿の充実を図り、更に資質を改善したいと思います。

出品牛は、発育良好、体緊実し、資質も概してよろしいが、肢長いもの、腿の淋しいもの、被毛、皮膚に今一息の改善を望みたいものが散見されましたが、これらについては、今後積極的な意図をもって改良に努められたいと思います。

(2) 和牛改良上極めて重要な種雄牛は、血統の優れたもののみの出品でしたが、更にいっそう系統的な面に考慮を払いたいと思います。体型、資質についても、出品牛はよく揃っているとは申せませんので、将来、和牛改良の指向する点を考慮し、素牛の選定と適切な飼養管理とに、なおいっそうの御努力が望まれます。

第2部 乳用種種牛

1、一般概況

今回の出品を通覧いたしますと、多数の出品数に拘らず何れ劣らぬ優秀なものが揃っておりまして、とくに旧来の酪農地帯と新興地帯の間において優劣の差が極めて接近してまいりましたことは、とりもなおさず本県乳牛改良の水準が普遍的に向上したことを示唆するものでありまして、誠に御同慶に堪えないところであります。

さて、今回の出品は前回に比較しまして、体型、資質共に良好で、飼養管理、調教馴教、出品技術などは何れも向上して、乳牛の改良進歩の跡が歴然としております。とくに体積に富み、デーリーキャラクターにすぐれ、乳器の良好なものが多かったことは、本県乳牛改良の力強い方向を示すものであると

考えます。これらのことは平素皆様方が乳牛改良のために不断の努力を傾けられた結果でありまして、心から敬意を表したいと思えます。

2、各区分の講評

審査は未経産、経産に分けて実施いたしましたので、各部の概評を述べてみますと、

(1) 未経産の部

この部の出品牛は何れも発育、栄養共に標準を上廻っておりまして、体型・資質がよく優劣の差が非常に少なくなったことが第1の特徴だと思えます。

又、従来、共進会に出品するために特別管理を行なって過肥状態の牛が比較的多く目立ったのでありますが、今回の出品牛ではこの傾向が是正され、過肥牛が殆んど見られなかったことが第2の特徴でありまして若干の育成技術上から見て誠に喜ばしい現象であります。

次に、各個体の形質が相当改良され、特に少数のものを除いては、乳器の改良の跡が顕著でありまして、特に乳房の質、附着がよくなっており、また一般外貌においても、背腰の良い、体積の充実したものが多かったことは、将来の乳牛造成に明るい希望を感ずるものであります。

而し、品位に乏しいもの、後軀の形状の悪いもの、乳頭の配列間隔形状の悪いもの、繋の弱いものが相当ありました。これらの点については、更に改善されることを希望します。

(2) 経産牛の部

一般の品位に富み、乳用牛の特質を備えた、資質のよいものが多く、前回に比べ乳房の附着が広く、背腰の良い牛が多かったことは喜ばしいことであります。しかしながら、まだ均称の悪いものや、胸巾が狭く、腹部の充実が足りないもので体積の不足しているものが散見いたしました。

又、乳器についてみますと、従来の垂れ乳房のものではなく、乳房の附着の広いもの特に前張りの良いものが多かったのでありますが、まだ少数形状の悪いもの、附着の緩いもの、乳頭の配列・形状の悪いもの等がありました。

従来、本共進会において、度々指摘して参りま

岡山畜産便り 1961. 11・12

した肢蹄についてみますと、前回より多少改良されておりましたが飛節及び繋が弱く、歩様の悪いものが多かったことは誠に遺憾で飼養管理に格段のご注意をお願いします。

将来改良上留意すべき点

以上を総合いたしますと、将来次のような点を注意の上改良を願いたいと思います。

- 1、種牡牛の選択を厳にし、計画的な交配によって後軀の充実と体形の改善をはかり、更に乳器の改良を一層進めることに心がけて頂きたい。
- 2、育成技術を更に向上して、良質の粗飼料を以て肋腹を充実し、また運動の励行により強健で持久力のある乳牛を作るように一層の努力を願いたいと思います。

第3部 種山羊

一般概況

一般に体型、資質が良好で殊に乳器の改良されたものが多かったが、肢蹄の軟弱なもの、肩付不良で棘上突起不鮮明であり、尻の傾斜のきついものも散見されましたが、一般に育成管理技術の向上についての努力に対しては敬意を表する次第であります。

短評

4号の山羊は総社市阿曾神原岸太郎さんが飼育した生後18ヵ月で5月に初産を分娩したのですが、発育よろしく輪かく鮮明で特に品位に優れ、後軀も充実し、乳房の形状、附着の状態も比較的良好で体各部の均称がよろしく、皮膚、被毛も概して良好と認められましたが、肩の附着がゆるく乳頭の形状が少々不良であったことは残念な点であります。出品山羊中最も優れたものとしてこれを第1位に擬賞いたしました。

将来に改良を要する点

本日出品のものについてはかなり品質のものが多かったのですが、総体的に見て品位、均称、体積と乳器の改善を計るため今後更に優れた種畜の導入をし、優良種牡山羊の交配に一段の努力をほらい種畜生産の立地条件を具備する種畜生産地帯の造

成を図ることが肝要であります。

第4部 ヨークシャー種々豚

審査方緯

日本種豚登録協会のヨークシャー種体格審査標準に基づき、発育良好で中軀の伸びと後軀良く充実し、乳微性器正常肢蹄強健にして、肉繋りのよいものであること。

一般概況

今回の豚の共進会は、昭和28年以来の催しであったためか、出品豚が非常に不揃いで、ケツ物がなく種豚としての管理技術を欠くため肉繋り悪く、体各部のしまりを欠ぎ、殊に頬重く下脰部の充実を欠ぎ、運動不足のため肢蹄の軟弱なものが多かったが、中軀の伸びと体上線の良好なものがかなり見受けられたほか特に調教馴致し、飼養熱意の旺盛さについては敬意を表するものがありました。

上位入賞豚の短評について

11号の豚は英田郡美作町、松本多穂さんの飼育された生後12ヵ月の未經産豚で、妊娠2ヵ月、体重約160kgで大体標準に達しており、発育良好で、殊に中軀の伸びと深さに富みに後軀の形状、大きさ共に適度で体各部の移行なめらかであり、乳頭鮮明でありましたが、頭部の品位を少々欠ぎ耳間狭く、頬少々重く下脰部の充実を欠ぎ、飛節ゆるく、また乳頭の配列、間隔が稍狭く、総体的に肉繋りがよろしくありませんでしたが、性質温順で調教馴致共に良く、本日出品豚中最優秀と認められましたので、これを一等一席といたしました。

将来を要する点

1、先ず基礎豚の選定の交配に留意し、発育曲線に応じた飼育管理を行ない、殊に運動の励行に努められ、強健で肉繋りの良く、中軀の伸びと肋張りに富み尾付きが高く、腿が充実し肢蹄強健で、充分発育した乳頭が12~14個で、その配列、間隔共に良好であり、かつ繁殖成績良好な種豚の造成につとめられんことを望みます。